

平成 21 年度第 1 回科学計測専門部会／#8 STP 事後打ち合わせ 議事録

日時 2009 年 4 月 3 日（金） 13:00～17:30

場所：海洋研究開発機構東京事務所 セミナー室 A・B

出席者（敬称略）

部 会 長：石橋純一郎（九州大学）

専門部会委員：岩井雅夫（高知大学） 小田啓邦（産業技術総合研究所）

河潟俊吾（横浜国立大学） 廣瀬丈洋（海洋研究開発機構） 山中寿朗（岡山大学）

S T P 委員：斎藤実篤（海洋研究開発機構）

池原 実（高知大学海洋コア総合研究センター [IODP 部会・執行部担当者]）

成瀬 元（千葉大学） 諸野祐樹（海洋研究開発機構） 林 為人（海洋研究開発機構）

布浦拓郎（海洋研究開発機構）

孔内計測 WG：中村恭之（東京大学海洋研究所／共同 WG 長） 佐藤 暢（専修大学／共同 WG 長）

古生物 WG：鈴木紀毅（東北大学）

技術開発推進専門部会：佐野 修（東京大学地震研究所）

IO[CDEX/JAMSTEC]：倉本真一 Moe Kyaw Thu 杉原孝充

事務局：梅津慶太

欠席者（敬称略）

専門部会委員：石塚 治（産業技術総合研究所） 岡田 誠（茨城大学） 坂井三郎（海洋研究開発機構）

1. 開会の辞（技術開発推進専門部会委員 佐野氏・C-DEX 杉原氏の紹介、書記指名：河潟）
2. 配布資料確認 [事務局]・議事次第確認 [部会長]

報告事項

3. 前回議事録確認 [部会長] 配布資料 1
4. IODP/J-DESC 報告

J-DESC：3 月 4 日の 10:30 からシンポジウムが開催され、13:00 より J-DESC 総会が開催される旨、報告された。

IODP：3 月 14 日～3 月 21 日の期間にマイアミで開かれた SPC 委員会における会議報告（掘

削提案の審査結果など) について配布資料に基づき説明された。

INVEST : 特になし。

5. C-DEX 報告 : Exp. 319 の乗船研究者の選抜はほぼ終了した。サンプルリクエストは来週から 4 月末にかけて募集する予定である。

CDR 分光法による間隙水の酸素・炭素安定同位体比測定装置のデモ機を“ちきゅう”上で試験して良好な結果を得たことが配布資料 5 に基づいて報告された。C-DEX は坂井・井尻氏よりこの報告の関係資料を入手して、SPP で報告することになった。

## 6. WG 報告

- (1) 孔内計測 WG : 3 月 2 日に開催した WG 会議について、佐藤孔内計測共同 WG 長より配布資料 2 に基づいて報告された。

- ・ 4 月 23~24 日に Exp. 319 と Exp. 322 共通で船上計測機器の取り扱いに関するプレククルーズトレーニングを行う予定である。泥水検層関連については、必要があれば開催する用意がある。
- ・ 今年度もコアスクールのロギングコースを開催する用意がある。
- ・ 今年度の課題 : コアスクール泥水コースの教育用サンプルを入手することが必要である
- ・ WG メンバーの更新 (案) が提案され、科学計測専門部会にて承認された。
- ・ 船上でのカッティングス処理フローについて、マーリングリストを利用して CDEX は関係する委員に資料を配布することとなった。
- ・ 乗船希望者募集に際しては、Co-chief を迅速に決定し、サイエンスプロスペクタスを公開するよう執行部に要請する。
- ・ Action Item 0903-06 について、科学計測専門部会と技術開発専門部会に対して、長期の科学計画提案を視野に入れた研究者と技術者の意見交換の設定に向けて提案することで合意した。

- (2) 古生物 WG : 今後 2 年間の古生物 WG の再任が条件付承認となった経緯が報告された。これを受けて、岩井・鈴木古生物共同 WG 長より改めて活動報告がなされ、求められている修正項目について説明がなされた (配布資料 3)。下記項目について委員間で意見が交わされた。

- ・ 古生物研究者の乗船研究マニュアルの早期完成を目指す。
- ・ 作成中の taxonomic name list も過去 2 年間の活動の成果物として含める。

## 7. 技術開発専門部会 (4/2) 報告

ED プロポーザル (小田委員、成瀬委員提案のもの) について、その内容についてコメントがあり、実現可能なプロポーザルにするべく意見が交わされた。

8. 8<sup>th</sup> STP (090306-09: Honolulu) 報告

3月6日～3月9日にハワイで開かれた8<sup>th</sup> STP 会議の内容会議で決議された19項目の内容について、斎藤副議長より配布資料4に基づいて報告された。各項目について委員間で意見が交わされた。

9. 追加報告

3月に高知大学海洋総合研究センターで開催されたコアスクールについて池原委員より以下の報告があった。

- (1) 基礎コースに3名、同位体コースに7名が参加した。
- (2) 基礎コースで使用する実習用コアが乾燥するなど劣化しているため、新たなコアを確保が必要である。
- (3) 実習用コアの科学計測の測定値に経年変化が起こることが明らかになったので、レポート等にまとめて報告することを検討している。

[検討事項]

10. 8<sup>th</sup> STP 議題から検討項目

- (1) Scientific Technology Roadmap について、各分野でのとりまとめ状況が報告された。
- (2) Digital Resources for IODP Platforms (STP Action Item 0903-16)
  - ・ 鉱物薄片やスミアスライド等のデジタル画像集について意見が交された。微生物学分野では既存の画像集は無いが、研究上、証拠として標本のデジタル画像の保存が重要であるとの意見があった（布浦委員）。
- (3) Expert input for Formation Factor Determination (STP Action Item 0903-17)
  - ・ Formation Factor 決定について、林委員は IODP-MI と IO にフィードバックを行うための専門家リストを作成して STP 委員長に提出する。

11. ED proposal への対応、その他

佐野氏より、ED プロポーザルには、孔内およびコアを使用して研究するためのハードウェア、ソフトウェアを含めることは可能であるとの回答があった。これを受けて次の2点を考慮した ED プロポーザルを作成して提案する予定である（小田委員、成瀬委員）。

- (1) あくまで掘削に必要なハードウェア、ソフトウェアであること。
- (2) 船上での試料等の処理に関するものは、掘削～船上処理までが一連のルーティンワークであることを強調すること。

12. 古生物 WG 継続について

- (1) 再度活動報告と時期活動計画を書面で提出することとし、科学計測専門部会においてメール会議で審議して承認することとなった。

- (2) 鈴木紀毅共同 WG 長の留任、岩井雅夫古生物共同 WG 長の退任、西 弘嗣氏（北海道大学）の古生物共同 WG 長への就任が承認された。
- (3) WG 委員の交代は、今後の活動への影響から現時点では保留とする。

### 13. その他

- (1) STP・専門部会委員のローテーションについて
  - ・ 専門部会委員について、参考資料 1 に基づき報告があり、木村浩之委員の退任、諸野祐樹委員の退任（STP 委員への就任）を承認した。諸野委員後任として吉岡秀佳氏（産業総合技術研究所）が就任予定であることが報告された。
  - ・ STP 委員について、次回 STP 会議（韓国）で任期が終了する池原実委員が同会議に出席できないために後任の委員を決定する必要があるが、保留となった。
- (2) 次回開催日程について  
8月初旬。メールにて各委員の都合を伺い日程調整する予定である。